



平成音楽大学

第
53
回

定期演奏会

2025.12.11 | 木 |

開演 19:00 [開場 18:15]

熊本県立劇場コンサートホール

[熊本県熊本市中央区大江2丁目7番1号]

全席自由

一般:2,500円 高校生以下:1,000円

チケット取扱/平成音楽大学 熊本県立劇場 熊本市内楽器店 熊日プレイガイド

指揮 海老原 光

Hikaru Ebihara



©JUNICHIRO MATSUO

第1部

- ◆ 大学祝典序曲 ハ短調 作品 80 / J. ブラームス 作曲
- ◆ 学生ソリストオーディション合格者によるステージ



ユーフォニウム
佐々木 夏実



ホルン
林 龍之介



トロンボーン
東 優希

第2部

- ◆ 交響詩「ローマの噴水」/ O. レスピーギ 作曲
- ◆ 交響曲 第9番 ニ短調「合唱付き」
作品125 第4楽章 / L.v. ベートーヴェン 作曲

ソプラノ 赤池 優 テノール 城戸 雅光
メゾ・ソプラノ 村椿 彬子 バリトン 松森 光

合唱 平成音楽大学合唱団

管弦楽 平成音楽大学管弦楽団

指揮 海老原 光

お問合せ 平成音楽大学 〒861-3295 熊本県上益城郡御船町滝川1658 / TEL 096-282-0506 / perform@heisei-music.ac.jp

主 催/平成音楽大学

後 援/熊本県教育委員会、熊本市、熊本県文化協会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、RKK、TKU、KKT、FMK、KAB、FM791、大学コンソーシアム熊本



学生が輝く最高のステージ

今年で53回目を迎える平成音楽大学「定期演奏会」は、前身の熊本音楽短期大学時代より毎年開催してきました。平成音楽大学にはそれぞれに特色のある11のコースがありますが、この定期演奏会はコースの垣根を超えて全学をあげて取り組むという本学ならではの伝統ある演奏会です。

第1部では「大学祝典序曲」や学内オーディションにより選抜された3名の学生ソリストがユーフォニアム協奏曲、ホルン協奏曲、トロンボーン協奏曲でオーケストラと共演いたします。

第2部では交響詩「ローマの噴水」、そして平成音楽大学総勢300名と本学教員・卒業生を中心に熊本ゆかりのソリスト陣による年末を彩る歓喜の歌『第九』をぜひお楽しみください。

多くの皆様にご鑑賞いただくこのステージでの演奏は音大でもあまり経験することのできない貴重な時間であり仲間と目標に向かって挑戦するという、最も成長できる機会のひとつです。

学生が輝く最高のステージをどうぞお楽しみください。

佐々木 夏実 [ユーフォニアム]

福岡市立福岡高等学校卒業。アメリカ・アリゾナ州で開催されたITEC2023Jr.Artist部門第3位。第63回熊本県新人演奏会出演。
現在、ミュージック・プロフェッショナルコース在学。

林 龍之介 [ホルン]

熊本県立熊本北高等学校卒業。第30回KOBÉ国際音楽コンクール金管楽器C部門優秀賞及び兵庫県芸術協会賞受賞。
現在、音楽学科管弦打楽コース4年生。

東 優希 [トロンボーン]

熊本県立人吉高等学校卒業。第26回万里の長城杯国際音楽コンクール管楽器部門第3位。第62回熊本県新人演奏会出演。
現在、音楽学科管弦打楽コース4年生。



赤池 優 [ソプラノ]

熊本市出身。東京藝術大学とウィーンにて声楽を学ぶ。様々なオペラやオペレッタ公演にて主役・準主役を務めるほか、パッハ・ベートーヴェン等 多数の管弦楽作品にてソリストを務め、国内外で現地オーケストラほかと共演を重ねる。劇場版名探偵コナン「戦慄の楽譜」にてソプラノ歌手役の歌唱吹き替えを担当し、全国に名を知られることとなった。日本声楽家協会講師、日本声楽アカデミー会員、熊本県文化懇話会会員、熊本オペラ芸術協会会員、ラスカー・オペラ協会会員。平成音楽大学教授。



村椿 彬子 [メゾ・ソプラノ]

熊本県出身。熊本北高校卒業、国立音楽大学卒業、東京学芸大学大学院修士課程修了。これまでに、声楽を浦田玲子、鎌田直純、ピアノを倉田愛子、光永育、吹奏楽を早川英一の各氏に師事。これまでに、文化庁委託事業によるガラコンサート、末吉保雄作品個展、福岡ジルベスターコンサート、東京学芸大学創設150周年記念演奏会、東京二期会公演、小澤征爾音楽塾子どものためのオペラ、セイジオザワ・松本フェスティバル等、ソリストとして多数出演。現在、東京学芸大学非常勤講師。東京二期会、日本フォーレ協会、各会員。熊本県立劇場協力アーティスト。



城戸 雅光 [テノール]

10歳でフルートを始める。声楽の道を志し、平成音楽大学声楽科を卒業。常森寿子氏、岩本貴文氏に師事。第27回九州音楽コンクール最優秀賞を受賞、第5回国際声楽コンクール東京グランプリ予選にて優秀賞を得る。これまでに多数のオペラにソリストとして出演し、数多くの演奏会に出演。福岡県の水郷・柳川で川下り「伯舟観光」の船頭を務め、船上での歌唱や案内を含む演出で観光振興に寄与。声楽の専門性を生かした独自の活動は各種メディアでも注目され、テレビ出演歴も多数。



松森 光 [バリトン]

熊本音楽短期大学声楽科卒業。同専攻科及び研究科を修了。「熊本市人づくり基金」の助成を受け渡欧。ウィーン市立音楽院在学中にベルンドルフ歌劇場、州立バーデン歌劇場、ウィーン・アクツェント劇場、ホアン劇場などでオペラ舞台を踏む。同音楽院オペラ科卒業後、ウィーン国立音楽大学オペラ科修了。舞台、演奏ソリストなどで研鑽を積む傍ら、ドイツリートも精力的に学んだ。2012年完全帰国。北九州拠点に幅広いジャンルを歌い、指導者、合唱指揮者としても活動中。



海老原 光 [指揮]

1974年鹿児島生まれ。鹿児島ウ・サール中学校・高等学校を卒業、1993年より高階正光氏に指揮を師事。東京芸術大学音楽学部楽理科を卒業、同大学院音楽研究科音楽学専攻(音楽教育/指揮)を修了。2002～03年ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。2003～05年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。2011～15年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。音楽学を土田英三郎、音楽教育を佐野靖、指揮を小林研一郎の各氏に師事、コヴァーチ・ヤーノシュ、飯守泰次郎の各氏に薫陶を受ける。2007年ロブロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第3位、2009年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで第6位入賞。2010年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールでは審査員特別賞を受賞。全国の主要なオーケストラを指揮、客演を重ね、国内外の著名なソリストとも数多く共演。2012・15年にはクロアチア放送交響楽団の定期公演(ザグレブ)に出演、また2019年にはゲデレー交響楽団(ハンガリー)に客演し、好評を博した。霧島国際音楽祭ほか、地元鹿児島でのイベント、ワークショップ、指揮法講座などにも意欲的に取り組んでいる。王道のクラシカルな交響作品から吹奏楽・現代音楽・ゲーム音楽など幅広いレパートリーを誇り、さらにはメディアアートや狂言など多彩なジャンルとのコラボからも目を離せない。その豊かな音楽性と躍動感溢れる煌めく指揮に、今後益々の活躍が期待される実力派指揮者。
オフィシャル・ホームページ: <http://www.hikaru-ebihara.jp/>